

平成22年度
ユニバーサルデザインまちづくり
ワークショップ実施事業

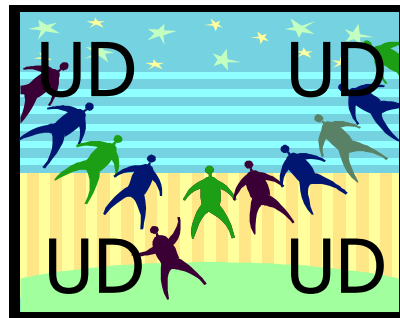
江東区
都市整備部まちづくり推進課

はじめに

- ユニバーサルデザイン（UD）とは・・・
年齢・性別・国籍の違いや、障害の有無等に関わらず誰にとっても使いやすいデザイン
- ワークショップとは・・・
参加者が意見を出し合い議論を進める

事業目的

- ユニバーサルデザインまちづくりの理解を広く区民に深めるため
 - 色々な人への理解を深める
 - 自分にできることを考え実行



事業概要

- 年 8 回開催
 - 第 1 ～ 3 ・ 7 回は、区役所等でワークショップ
 - 第 4 ～ 6 回は、小学校で出前講座
 - 第 8 回は、文化センターでフォーラム

事業概要（参加者）

一般区民

小学生（高学年）、小学校先生

登録区民24名、職員15名、
アドバイザー1名、運営委託者3名、
区事務局2名

ワークショップ

出前講座

フォーラム

成果品

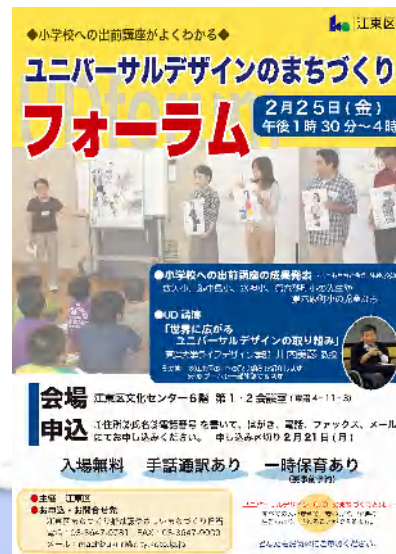
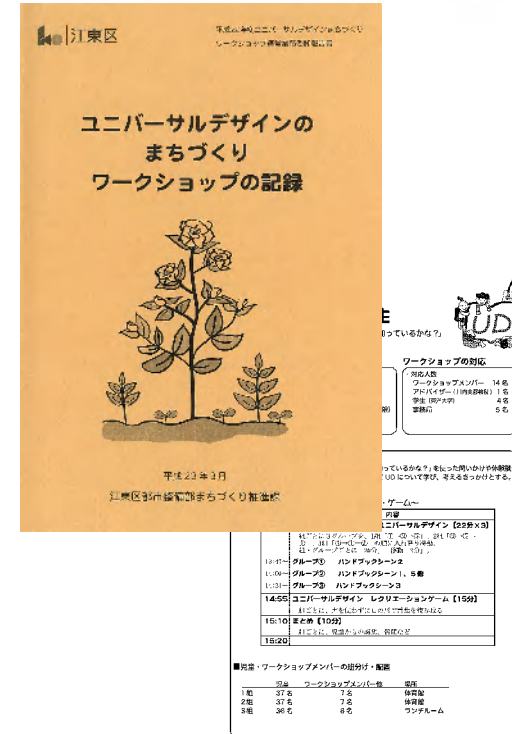
- 年度の報告書

- 150部

- 60ページ

- フォーラム案内ちらし

- 150部



第1回ワークショップ（導入）

- プログラム
 - ユニバーサルデザインについて講演
 - まちに出てユニバーサルデザインを探す



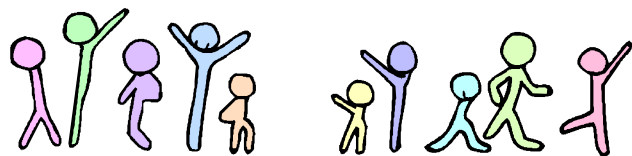
第2回ワークショップ（水辺）

- プログラム
 - 水辺のユニバーサルデザインを探す
 - 江東区は水辺が多いので、このプログラムを入れてみました
 - 豊洲で、船に乗るまでの経路、浮き桟橋、船のユニバーサルデザインを探しました



出前講座とは・・・

- ワークショップメンバーが小学校に出向き、小学生にユニバーサルデザインまちづくりを学んでもらう講座
 - 対象は、4～6年生で学年ごと
 - 時間は、午後で約95分



第3回ワークショップ（準備）

- プログラム
 - 運営業者から出前講座の内容案の説明
 - 出前講座の内容案の検討
 - 出前講座での役割分担等の確認



第4回出前講座（区内小学校）

- プログラム
 - 小学生が施設改善提案を発表
 - ワークショップメンバーと小学生が提案について意見交換

第5回出前講座（区内小学校）

- プログラム
 - UDハンドブックをわかりやすく説明
 - 口の形で言葉を読み取るゲーム

第6回出前講座（区内小学校）

- プログラム
 - 色々な人とお話しながらUDまち歩き
 - 各班で店舗、駅、公園、文化センターへ

第7回出前講座（区内小学校）

- プログラム
 - 小学生がお店づくり
 - お店疑似体験
 - こどもが店員
 - ワークショップメンバー等がお客

第8回ワークショップ（検証）

- プログラム
 - 出前講座の結果より、改善点等について意見交換
 - ワークショップメンバーが当日にやることを詳細まで決めておかないと、時間が足りなくなる
 - 小学生とワークショップメンバーが、出前講座の初めに、お互いに和む時間が必要

第9回フォーラム

- プログラム
 - 各実施校の先生、小学生より、出前講座の成果を広く発表
 - 世界のユニバーサルデザインの取組について講演

第9回フォーラム

- 各実施校より出前講座の報告
 - 小学生はUDを一言でまとめると「心の余裕」と答えた
 - ただ使いやすいUDだけでなく、人と人とのコミュニケーションも大切だと学びました
 - これからは自分にできることは何かを考えていきたい

成果

ユニバーサルデザインまちづくりの
理解を広く区民に深められた

次のステップへ

- 工夫を凝らした点・苦勞した点
 - 全校違う内容の出前講座
 - 学校の希望に沿った内容にできたが、企画するのに時間がかかった点
- 課題
 - 出前講座を毎年3小学校実施する計画だが、全43校に広げるには時間がかかる